

原子力問題調査特別委員会

東海第二発電所の請願を継続審議

東海第二発電所の廃

炉を求める請願3件、

原子力施設の安全性向

上に関する請願1件を

審査する原子力問題調

査特別委員会（豊島寛

一委員長ほか18人）が

7月10日、役場会議室

で行われました。5回

目となる請願審査に採

決を取るべき、継続し

て審議すべきと意見が

分かれ、採決の結果9

対9、委員長採決で継

続審議となりました。

発言の一部は次のとお

りです。

大内委員 大飯原発

3、4号機が再稼動し

た。今日結論を出すべ

き。

相沢委員 福島の大惨事

を踏まえると、本当に

安全が確保できるの

か、問題。夏の電力不

足にすりかえられて、

大事なところが抜けて

しまった。大飯原発再

稼動で状況が変わった

ように言われるけど、

何も変わってはいな

い。

恵利委員 住民の意見

を聞いて採択したほう

がいい。対処療法的な

ものはできていないが、

根本的な安全確保はで

きていない。

大名委員 大飯原発の

再稼動があったから一

気に採決に持っていくこ

うとするのはいかか

か。総理の判断だけで

というのは、村議会議

員1人ひとりが考えて

出した結論ではない。

村上孝委員 村の農産

物、公園等の被害状況

を踏まえ、協議した上

で採択すべき。

江田委員 早急に結論

を出すことに賛成しま

せん。住民の意見を聞

く前に結論を出して思

考停止することは良く

ない。

舛井委員 全員が納得

する話にはならない。

議論を延々とやってい

いものかどうか。最後

は採決となるのが民主

主義の大原則である。

越智委員 東海第二発

電所の再稼動をどうす

るか、いろんな側面

から判断しなければな

らないので、軽々に判

断すべきではないとい

うのは私たちも共通の

認識。ただ、この委員

会は請願の審査をしな

ければならないという

船出だったので、前回

6月1日の委員会時で

も結論を出すと考えて

いた。

岡崎委員 住民の大半

は徹底した安全対策を

進めた上で、十分雇用

に配慮しながら、長期

的・将来的には脱原発

依存の方向に入ってい

くことを望んでいると

考える。現時点では、

雇用と経済対策を進め

るのが最も大切であ

る。

※議事録は8月下旬以

降、議会事務局でご覧

になれます。

文教厚生委員会

学校給食を視察

文教厚生委員会（江

田五六委員長ほか6

人）は学校給食の現状

と課題を調査するため、

7月5日、白方小学校

（黒田隆久校長、児童数

656人）を訪問し、村

内でただ1人の栄養教

諭である菊池政江先生

から説明を受けました。

学校給食の目的は、

毎日の食事を通じて①

子どもたちに食に関す

る知識や食をコント

ロールしていく力を身

に付けさせる②心と体

の健全な発達③健康な

食生活の習慣の形成を

図ること。菊池先

生は、子どもたちが食

事を作るようになった

とき、給食を思い出し

て参考となる献立を考

えていますとのことだ

した。

委員からは地場産の

食材や旬の食材の利用

状況、他校の栄養士と

の連携、アレルギー対

策などについて質問し

ました。

今後、委員会として

は、食材の利用状況や

親・児童生徒に対する

食育の浸透状況を把握

し、学校給食の充実に

寄与していきます。

